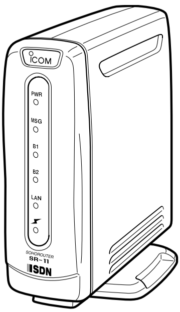
ICOM®

ブロードバンド説明書

11Mbps WAVEMASTER®

SOHOROUTER
SR−11

本書は、本製品をブロードバンドルータとして使うための基本的な内容や制限事項について説明しています。
設定画面の説明やISDN回線も同時にご使用の場合は、本製品に付属の取扱説明書[基本編/応用編]も併せてご覧ください。



Icom Inc.

はじめに

本製品の概要について

◎本製品の設定を、本書で説明する「簡単設定ソフト」または「WWWブラウザ」を使って変更することで、ブロードバンドルータとして機能します。

◎ブロードバンドルータとして使用する場合、WAN側(モデム接続)は[Ethernet]ポートを使用し、LAN側(パソコン接続)は無線および[USB]ポートを使用します。

◎ブロードバンドルータ機能とISDNルータ機能(アナログ電話を含む)は同時に使用できます。

制限事項について(重要)

ブロードバンドルータとして使用する場合、以下の制限があります。

◎[USB]ポートをEthernetとして使用できるのは、簡単設定ソフト(同梱のフロッピーディスクに収録)または本製品の[回線設定]画面で、Ethernetポートの設定を「PPPoE」または「DHCP」に設定しているときだけです。
それ以外の設定では、[Ethernet]ポートとして使用するためのドライバーをインストールされていても、TAでしか使用できません。TAで使用する場合は、付属のCD-ROMに収められた「USBを使うかたへ」(PDF形式)で説明しています。

◎RIP設定にてWAN側のRIPを「使用しない」に設定した場合、PPP(ISDN)側にもRIPを出しません。

◎PPP(ISDN)側に対してデフォルトゲートウェイを作成できません。

◎メール着信通知設定の接続先はブロードバンド側だけになります。

◎PPP(ISDN)での接続時に取得したDNSサーバに対してリクエストは行いますが、経路によっては通信できないことがあります。これは、PPP(ISDN)側に対してデフォルトゲートウェイを作成することができないためです。

もくじ

ご使用になる前に　第1章

この章では、
本製品をブロードバンドルータでご使用になる前に必要な準備などを説明しています。

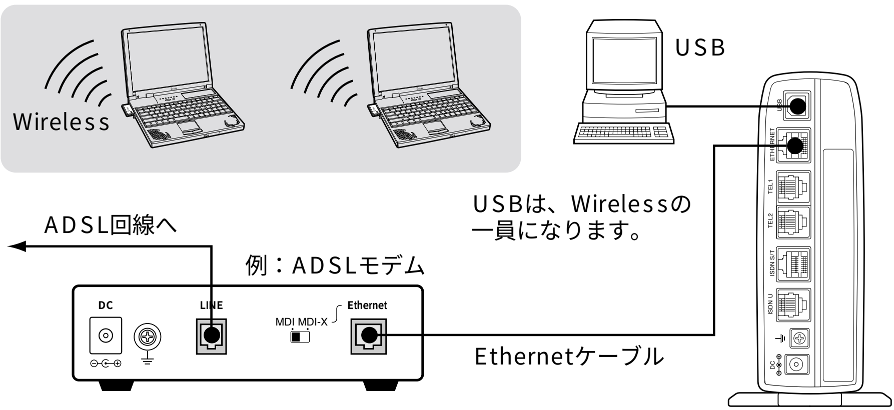
【ご注意】
本製品のUSBドライバーは、本製品の[USB]ポートをTAとして使用するドライバー(同梱のCD-ROMに収録)と[Ethernet]ポートとして使用するドライバー(同梱のフロッピーディスクに収録)の2種類あります。
TAとして使用するドライバーでは、PPPoEまたはDHCP以外の回線設定のとき使用できます。
また、PPPoEまたはDHCPを設定しているときは、[Ethernet]ポートとして使用するドライバーを使用できます。このとき、本製品は、TAとしてとして使用できませんのでご注意ください。

1 ご使用になる前に

1-1 接続ポートについて

本製品の回線をブロードバンド単独、または併用してご使用の場合、モデム(ADSL/CATVケーブル)を[Ethernet]ポートに接続して使用します。この場合、本製品の[Ethernet]ポートに接続するパソコンで本製品の回線設定を変更(PPPoE、DHCP)したあとの接続は、[USB]ポートおよび無線LANカード(弊社製)でしか行えません。また、回線設定変更後、パソコンを[USB]ポートに接続して無線で本製品に接続されたネットワークに含めて使用する場合は、本書で説明する手順にしたがってUSBドライバーをインストールする必要があります。

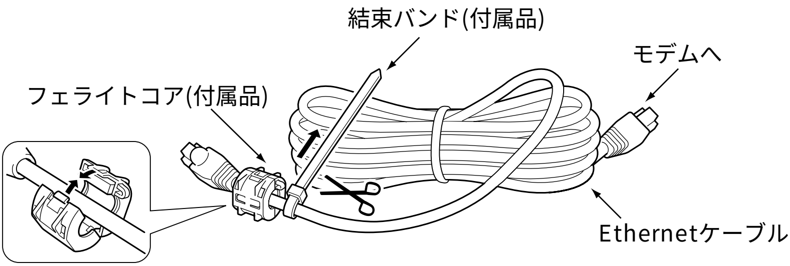
※PDF形式の「USBを使うかたへ」で説明するUSBドライバーのインストールは、[USB]ポートをTA機能として使用する(PPPoE、DHCP以外を設定)ときのドライバーのインストール手順ですので、注意して使用してください。



1-2 フェライトコアについて

モデム(ADSL/CATVケーブル)を本製品の[Ethernet]ポートに接続する場合も、本体側に接続する方の[Ethernet]プラグの端にフェライトコアをしっかりと固定する必要があります。

フェライトコアは、プラグの端に固定しないと電波障害を引き起こすことがあります。



1-3 プロバイダーとの契約について

インターネットに接続するためには、プロバイダーとの契約が必要です。
ご契約のプロバイダーやサービスによって、接続方式(PPPoE、DHCP)が異なります。
接続方式についてご不明な場合は、ご契約のプロバイダーやお買い上げの販売店などにご相談ください。

■「DHCP」方式に対応している場合

ご契約のプロバイダーが、「DHCP」方式での接続を要求している場合です。
本製品の設定に必要ですので、あらかじめ以下の項目を確認しておいてください。

- ●IPアドレス(固定割り当ての指示がある場合)
- ●サブネットマスク(固定割り当ての指示がある場合)
- ●デフォルトゲートウェイのIPアドレス
- ●DNSサーバのIPアドレス(複数指定されている場合もあります。)

■「PPPoE」方式に対応している場合

ご契約のプロバイダーが、「PPPoE」方式での接続を要求している場合です。
本製品の設定に必要ですので、あらかじめ以下の項目を確認しておいてください。

- ●ログインユーザー名
- ●ログインパスワード
- ●[PPPoE]接続のサービス名(本製品では設定不要です。)
- ●IPアドレス(固定的に割り当てる方式の場合は必要です。)
- ●DNSサーバのIPアドレス(複数指定されている場合もあります。)

■ご契約プロバイダーへの申請事項

ご契約のプロバイダーや提供を受けるサービスによっては、本製品を含めインターネット接続できる機器(パソコンなど)の事前申請が必要になります。
この場合、CATVインターネットではケーブルモデム、ADSLインターネットではADSLモデムに直接接続するネットワーク機器(パソコンなど)がそれぞれ独自に持っているMACアドレス(機器固有の番号)を、プロバイダーに対して事前申請する必要があります。そのときは、**本製品のMACアドレスを通知してください。確認のしかたは、「本体MACアドレスの確認方法」(本書☞4-5章)をご覧ください。**

【ご注意】
MACアドレスの事前申請が必要なサービスをプロバイダーからお受けになるときは、プロバイダーへの申請および登録が完了するまで、本製品を利用したインターネットアクセスはできません。

1-4 出荷時の回線設定について

出荷時や全設定内容を初期化したとき、本製品で使用する回線種別は、「ISDNダイヤルアップ」に設定されています。また、本製品の[Ethernet]ポートの設定は、「LANに使用する」に設定されています。
ブロードバンドルータとしてご使用になるときは、本製品の[Ethernet]ポートに接続する(無線で本製品に接続している場合も可能)パソコンからアクセスして、本製品の回線設定([Ethernetポートの設定])を変更する必要があります。
本製品にアクセスして設定を変更するには、2とおりの方法があります。
「簡単設定ソフトで設定する」(☞3章)、または「WWWブラウザで設定する」(☞4章)の方法で行います。
※「PPPoE」または「DHCP」に設定後、パソコンを[USB]ポートに接続して使用する場合は、「パソコンを設定する」(本書☞2章)にしたがってUSBドライバーをインストールする必要があります。

パソコンを設定する

第2章

この章では、
ブロードバンドルータとして使う場合、本製品と通信を行うパソコンの設定について説明します。
本製品とパソコンのつなぎかたに応じて、次の箇所をお読みください。
●Ethernetでつなぐ→「取扱説明書[基本編]」
●無線でつなぐ　　→「取扱説明書[基本編]」
●USBでつなぐ　　→「本章」(本書☞1-1章のように使用するとき)

※お買い上げ時、回線設定をPPPoEまたはDHCPに変更するまでは、この章を参考に本製品のフロッピーディスクに同梱のUSBドライバーをインストールしても使用できません。
※取扱説明書[基本編](☞1-14章)のようにTA機能で使うときは、本製品のCD-ROMに収められた「USBを使うかたへ」(PDF形式)で説明しています。

■USBをつなぐ手順

USBケーブルを[USB]ポートに接続してパソコンをつなぐ場合の設定のしかたについて説明します。なお、対応OSは、Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000です。
※本製品とパソコンの接続は、無線LANを使って行うこともできます。

■USBドライバーのインストール

Windows Me、Windows 2000を例に、USBドライバーをインストールする手順について説明します。
本製品の[USB]ポートと接続するコンピューターにインストールしてください。
※Windows2000をご使用の場合は、Administrator権限でログオンしてください。

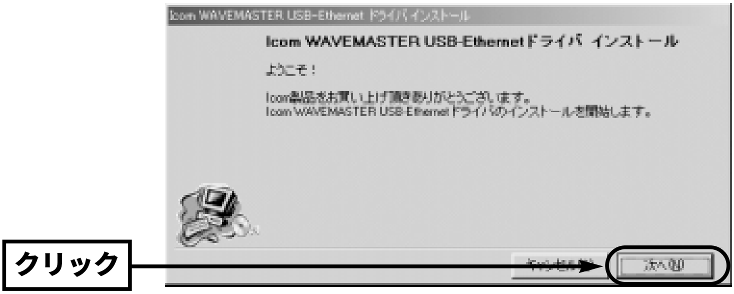
【Windows Me/Windows2000の場合】

1. 現在、起動しているアプリケーションをすべて終了します。

2. 本製品のフロッピーディスクをコンピューターのフロッピーディスクドライブ[A:]に挿入して表示しているメニュー画面から、〈USBドライバ　インストール〉ボタンをクリックします。
ご使用のOSを認識しますので、次の手順にしたがって操作をします。

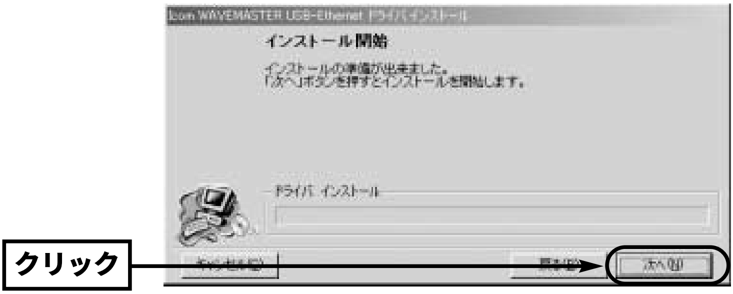


3. 〈次へ(N)〉をクリックします。

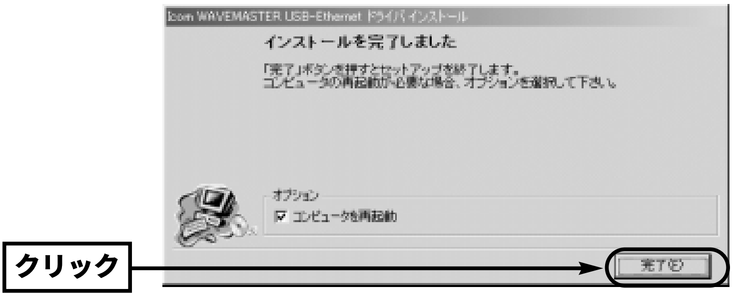


4. 〈次へ(N)〉をクリックします。

● インストールを開始します。



5. 〈完了(F)〉をクリックします。



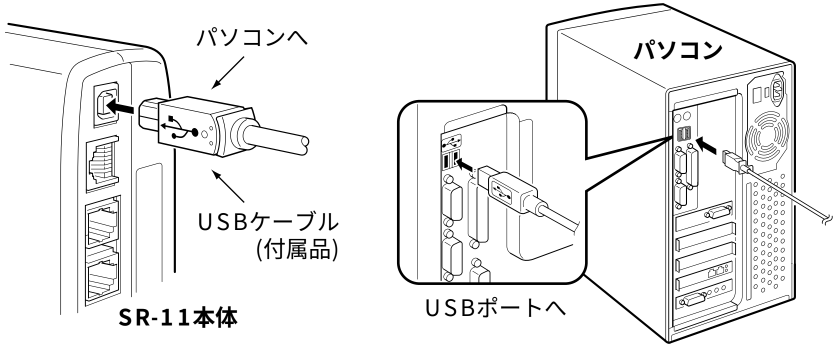
【ご参考に】
ご使用のパソコンに[USB]ポートがあることを確認してください。
また、その[USB]ポートが使用できる状態に設定されている必要があります。
確認は、Windows Meの場合、「コントロールパネル」画面の[システム]アイコンをダブルクリックして表示される「デバイスマネージャ」で行えます。
パソコンのBIOSにUSB機能を選択する項目がある場合は、それを有効にする必要があります。詳しくは、ご使用のパソコンの取扱説明書でご確認ください。

■本製品の[USB]ポートと接続する

【接続の手順】

1.USBドライバーのインストール後、パソコンの再起動が完了したことを確認します。

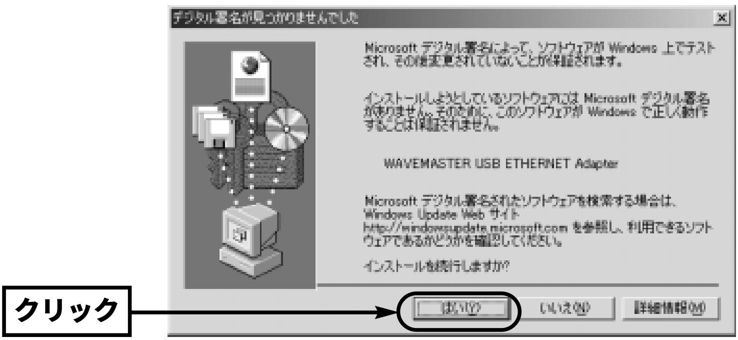
2.本製品に付属するUSBケーブルで本製品とパソコンと接続します。



3.USBケーブルのもう片方の端を本製品の[USB]ポートに差し込みます。
パソコンが本製品を自動的に認識して、次の画面を表示します。
※Windows2000をご使用の場合、Administrator権限でログオンしてください。



4.Windows Meでご使用の場合は、本製品に付属のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すと完了です。
Windows2000でご使用の場合は、次の画面で〈はい(Y)〉をクリックして、本製品に付属のフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出すと完了です。



■TCP/IPプロトコルの設定

「■USBドライバーをインストール」の操作(☞P6)を行ったあと、「3-1 Ethernetでつなぐには(■TCP/IPプロトコルを使えるようにする)」(☞取扱説明書[基本編])の手順を参考に設定を行ってください。
USBドライバーがインストールされていると、本製品の「TCP/IP」プロトコルには、「WAVEMASTER USB ETHERNET Adapter」と表示されます。

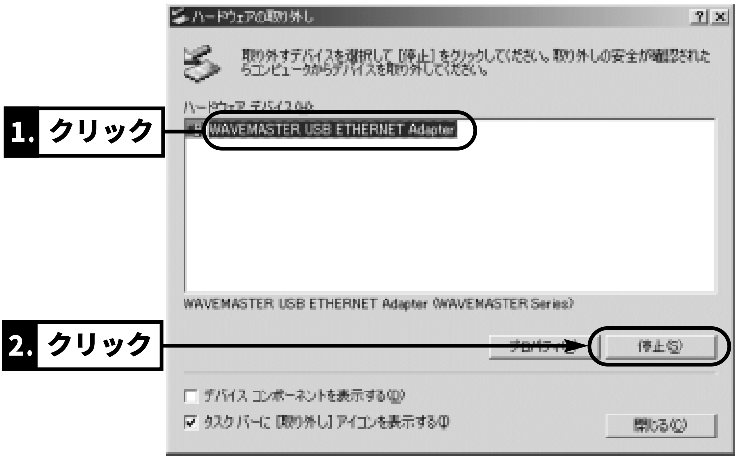
■[USB]ポートから取り外すには

【Windows 98/98SE/Windows Meの場合】
USBケーブルの取り外しは、必ずプラグの部分を持って行ってください。
ケーブルの部分を持って引っ張ると、本製品のUSBポートやケーブルが破損する恐れがあります。

【Windows2000の場合】
USBケーブルを取り外すには、次の操作を行う必要があります。
【取り外しの手順】
1.タスクバー上の[取り外し]アイコンをダブルクリックします。



2.[ハードウェアの取り外し]画面に表示された、「WAVEMASTER USB ETHERNET Adapter」をクリックしてから、〈停止(S)〉をクリックします。



簡単設定ソフトで設定する

第3章

この章では、
Ethernetで本製品に接続するパソコンを例に、ADSL対応プロバイダーへの回線接続設定について、本製品の「簡単接続設定ウィザード」を使用する方法を説明します。
無線で本製品に接続するパソコンから「簡単接続設定ウィザード」を使用して設定を行う場合は、最初に「無線LANを設定する」(取扱説明書[基本編]☞6-4章)をご覧になり、パソコン側の無線LAN設定内容が本製品と一致していることと、本製品から自動でそのパソコンにIPアドレスが割り当てられていることを確認(取扱説明書[基本編]☞4-3章)してから、本章で設定を行うことをお勧めします。
パソコンを[USB]ポートに接続して無線で本製品に接続されたネットワークに含めて使用する場合(お買い上げ時状態では、[USB]ポートはTA機能でしか動作しません。)は、あらかじめ[Ethernet]ポートまたは無線LANで接続するパソコンから回線設定をPPPoEまたはDHCP変更(本書☞3章、4章)してから、USBドライバーのインストール(本書☞2章)を行うと、[USB]ポートはEthernetとして機能します。

【ご注意】
回線設定をPPPoEまたはDHCPに変更するときは、同梱のフロッピーディスクに収録された簡単設定ソフトで行います。(本書☞3章)
ISDNダイヤルアップ接続やフレッツISDNを使用する場合は、同梱のCD-ROMに収録された簡単設定ソフトで行います。(取扱説明書[基本編]☞5章)

3 簡単設定ソフトで設定する

3-1 本製品とパソコンの電源を入れる

設定に使うパソコンの準備ができたら、本製品とそのパソコンの電源を入れます。

1.本製品の電源を入れます。

2.本製品に接続されたパソコンの電源を入れます。

3.本製品の[LAN]ランプが点灯していることを確認します。
消灯している場合は、[ETHERNET]スイッチの設定(取扱説明書[基本編]☞4章)を確認してください。

4.本製品からパソコンにIPアドレスが割り当てられている(取扱説明書[基本編]☞4-3章)ことを確認します。
※IPアドレスが割り当てられないときは、本製品の設定画面を呼び出せませんので、もう一度「パソコンを設定する」(取扱説明書[基本編]☞3章)で確認してください。

3-2 簡単設定ソフトを起動する

簡単設定ソフトは、本製品のフロッピーディスクに収められています。

右のメニューから〈簡単接続設定ウィザード〉クリックします。

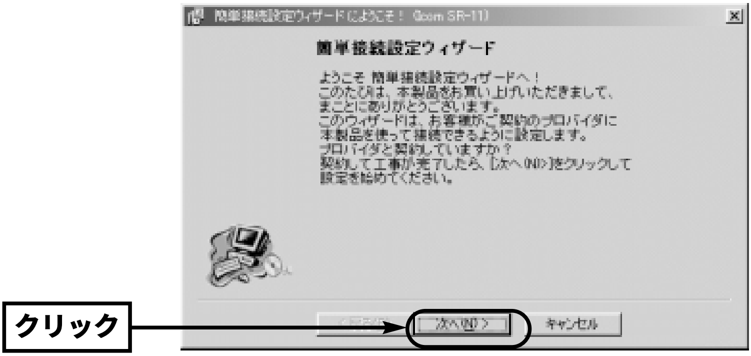
●「簡単接続設定ウィザード」が起動します。



3-3 設定をはじめる

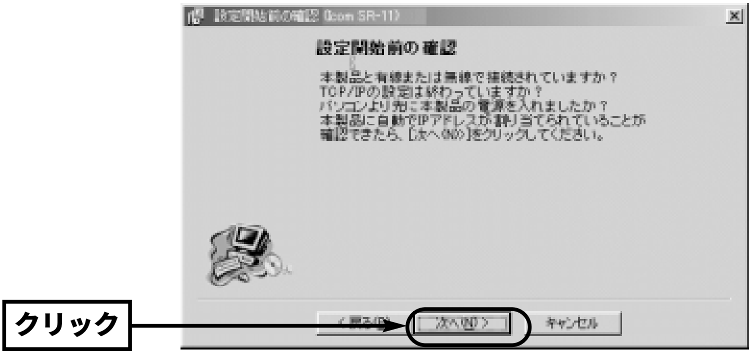
「簡単接続設定ウィザード」を起動したら、つぎの手順にしたがって設定を行います。

1.次の画面が表示されたら、内容を確認して、〈次へ(N)〉をクリックします。



2.内容を確認して、〈次へ(N)〉をクリックします。

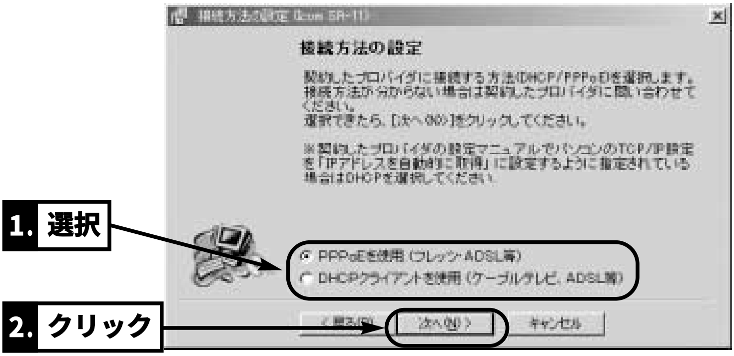
※パソコンのIPアドレスをあらかじめ手動で指定しているときは、自動的に取得できるように変更(取扱説明書[基本編]☞3章)してから、やり直してください。



3

3-3 設定をはじめる(つづき)

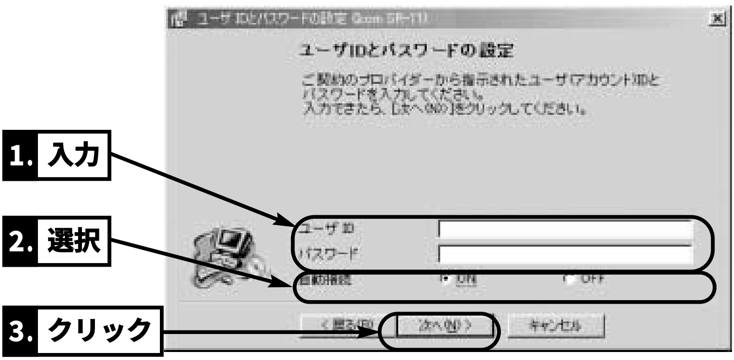
3.ご契約のプロバイダーが指定する接続方式を選択して、〈次へ(N)〉をクリックします。
※本製品の回線種別(ISDN、専用線、OCNエコノミー)の設定は、自動で「使用しない」に変更されます。



上記画面で「PPPoEを使用(フレッツ・ADSL等)」を選択した場合は、契約しているプロバイダーから指定された[ユーザーID]と[パスワード]をテキストボックスに入力します。パソコンからホームページやメールを見る操作を行ったときなど、自動的にインターネットへ自動接続をする場合は、「ON」のラジオボタンをクリックしてから、〈次へ(N)〉をクリックします。

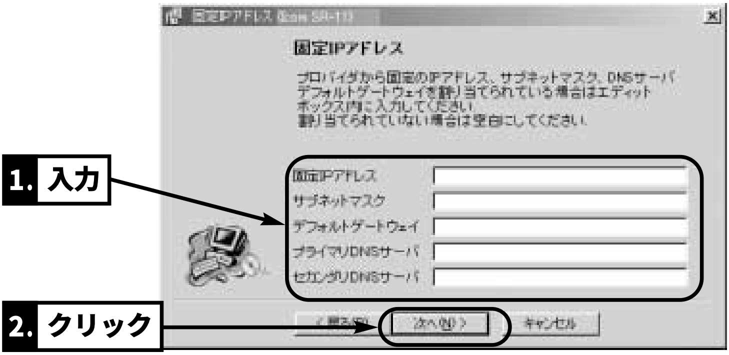
※「DHCPクライアント使用(ケーブルテレビ・ADSL等)」を選択時は、次の設定はありません。

※「OFF」に設定したときの接続操作は、WWWブラウザの設定画面で行います。
詳しくは、「インターネット接続を開始する」(本書☞5-2章)をご覧ください。

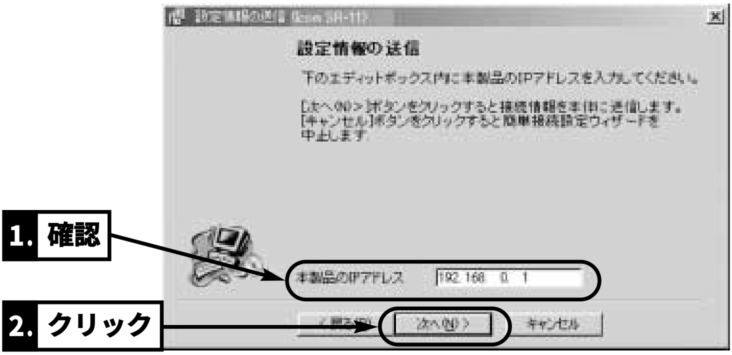


【⚠注意】
「簡単接続設定ウィザード」では、テキストボックスに入力する文字数制限は、「wwwブラウザ」を使って設定するときの文字数制限と同じです。「簡単接続設定ウィザード」で制限以上の文字を入力されても、制限を超えた分は、破棄されます。

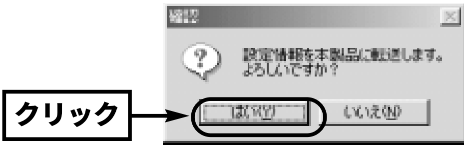
4.プロバイダーからIPアドレスを指定された場合は、そのアドレスとそれ以外に指定された内容を、該当する欄に入力して、〈次へ(N)〉をクリックします。
※特に指定がない場合は、何も入力しないで、〈次へ(N)〉をクリックします。
ご不明な場合は、ご契約のプロバイダーにご確認ください。



5.本製品に設定されたIPアドレス(出荷時は、192.168.0.1)が正しいかを確認して、〈次へ(N)〉をクリックします。



6.「確認」のダイアログが表示されますので、〈はい(Y)〉をクリックします。



3

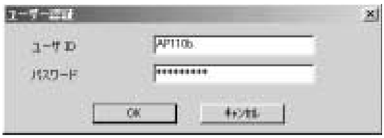
3-3 設定をはじめる(つづき)

7.〈完了〉をクリックします。



8.手順3.で「PPPoEを使用(フレッツ・ADSL等)」を設定したときは、「5.インターネットにつなぐ」に進みます。
手順3.で「DHCPクライアント使用(ケーブルテレビ・ADSL等)」を設定したときは、「[ETHERNET]ポートへのモデム接続」(本書☞5-1章)を行ってから、WAN側とLAN側のIPアドレスが取得できている状態であれば、お好きなURLを起動したWWWブラウザのアドレスバーに入力して、接続を確認します。

手順6.で、「ユーザー認証」画面が表示されたときは、本製品に設定されている管理者IDを入力します。管理者IDを設定していないのに、以前設定した内容が表示されるときは、その内容を消してから〈OK〉をクリックします。



【プロバイダーから配布のPPPoE接続ソフトウェアについて】
本製品でプロバイダーへの接続方式の設定をPPPoE方式に設定する場合は、プロバイダーから配布されるPPPoE接続用ソフトウェアのインストールは不要です。すでに、ご使用のパソコンにインストールされているときは、そのソフトウェアのアンインストールを行うか自動接続設定を無効に変更してから、本製品をご使用ください。

WWWブラウザで設定する

第4章

この章では、
Ethernetで本製品に接続するパソコンを例に、ADSL対応プロバイダーへの回線接続設定について、「WWWブラウザ」を使って行う方法を説明します。
無線で本製品に接続するパソコンから「WWWブラウザ」を使用して設定を行う場合は、最初に「無線LANを設定する」(取扱説明書[基本編]☞6-4章)をご覧になり、パソコン側の無線LAN設定内容が本製品と一致していることと、本製品から自動でそのパソコンにIPアドレスが割り当てられていることを確認(取扱説明書[基本編]☞4-3章)してから、本章で設定を行うことをお勧めします。
パソコンを[USB]ポートに接続して無線で本製品に接続されたネットワークに含めて使用する場合(お買い上げ時状態では、[USB]ポートはTA機能でしか動作しません。)は、あらかじめ[Ethernet]ポートまたは無線LANで接続するパソコンから回線設定をPPPoEまたはDHCP変更(本書☞3章、4章)してから、USBドライバーのインストール(本書☞2章)を行うと、[USB]ポートはEthernetとして機能します。

本製品の「簡単接続設定ウィザード」を使って設定を行う場合は、「簡単設定ソフトで設定する」(本書☞3章)をご覧ください。

4-1 本製品とパソコンの電源を入れる

設定に使うパソコンの準備ができたら、本製品とそのパソコンの電源を入れます。

1.本製品の電源を入れます。

2.本製品に接続されたパソコンの電源を入れます。

3.本製品の[LAN]ランプが点灯していることを確認します。
消灯している場合は、[ETHERNET]スイッチの設定(取扱説明書[基本編]☞4章)を確認してください。

4.本製品からパソコンにIPアドレスが割り当てられている(取扱説明書[基本編]☞4-3章)ことを確認します。
※IPアドレスが割り当てられないときは、本製品の設定画面を呼び出せませんので、もう一度「パソコンを設定する」(取扱説明書[基本編]☞3章)で確認してください。

4-2 回線種別とETHERNETポートの変更

ここでは、ブロードバンドだけを回線に使用する場合について説明します。

〈変更する〉

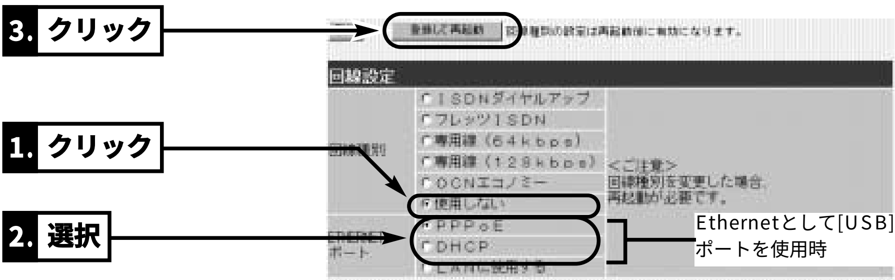
1.本製品の取扱説明書[基本編](☞6-2章)を参考に設定画面を呼び出します。

2.「回線設定」画面を表示させます。

3.[回線種別]の中から、「使用しない」のラジオボタンをクリックします。
※「使用しない」を選ぶことで、ブロードバンドで使用時、不要になる[B1]/[B2]ランプの機能を停止できます。

4.[ETHERNETポート]の中から、ご契約のプロバイダーへの接続方式を選択します。
します。

5.〈登録して再起動〉をクリックします。
●再起動後、設定した回線の接続先が登録できる状態になります。



【回線設定に伴うUSBポートの使用制限】
[回線設定]画面の[ETHERNETポート]項目で「PPPoE」または「DHCP」を設定するときだけ、本製品の[USB]ポートは、同梱のフロッピーに収められたドライバーをインストールすることで、Ethernetとして使用できます。

4-3 インターネットに[PPPoE]方式で接続する

[PPPoE]方式に対応するプロバイダーにモデムを使って接続(本書☞5-1章)するとき、最低限必要と思われる設定項目について説明します。また、回線種別とETHERNETポートが、本書4-2章の説明にしたがって、「PPPoE」に変更されていることを前提として説明しています。

【プロバイダーから指定される情報の例】

- ユーザID：user(ログインユーザ名またはアカウント名と記載の場合があります。)
- パスワード：userpass(ログインパスワードと記載の場合があります。)
- IPアドレス：172.169.0.5(固定で設定するように指定された場合は必要です。)
- プライマリDNSサーバ：192.169.100.10(DNSサーバIPアドレスと記載の場合があります。)
  ※プライマリ、セカンダリとして、複数指定される場合があります。

〈設定のしかた〉

1.メニューから〈回線と接続〉→「ETHERNETポート設定」の順番にクリックします。
- 「ETHERNET接続設定」画面を表示します。



2.プロバイダーから指定された項目があるときは、画面の該当する項目に入力します。
3.〈登録〉をクリックします。
- 設定した内容が有効になります。



4-4 インターネットに[DHCP]方式で接続する

[DHCP]方式(ご契約のプロバイダーからIPアドレスの指定がない)に対応するプロバイダーに、ADSLモデムまたはCATVケーブルモデム(本書☞5-1章)を使って接続するとき、最低限必要と思われる設定項目について説明します。また、回線種別とETHERNETポートが、本書4-2章の説明にしたがって、「DHCP」に変更されていることを前提として説明しています。

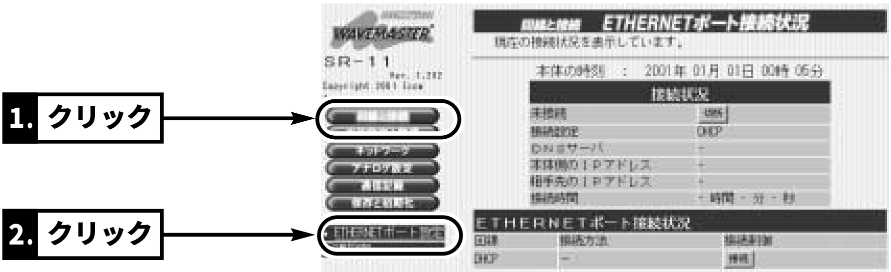
【プロバイダーから指定される情報の例】

ご契約のプロバイダーから下記の項目についての指定がないときは、「回線設定」画面で接続方式[DHCP]だけを設定します。

- IPアドレス(指定された場合は入力します。)
- サブネットマスク(指定された場合は入力します。)
- デフォルトゲートウェイのIPアドレス(指定された場合は入力します。)
- DNSサーバのIPアドレス(指定された場合は入力します。)

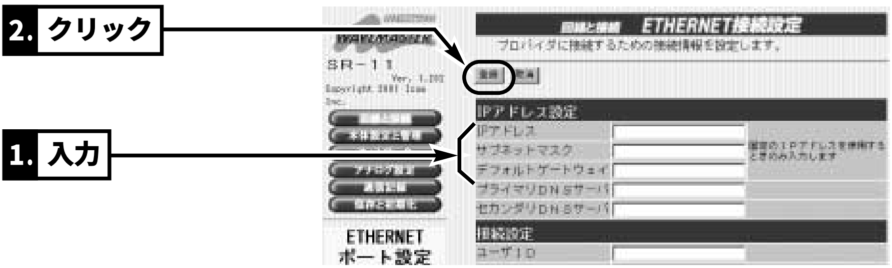
〈設定のしかた〉

1. メニューから〈回線と接続〉→「ETHERNETポート設定」の順番にクリックします。
- 「ETHERNET接続設定」画面を表示します。



2. プロバイダーから指定された項目があるときは、画面の該当する項目に入力します。

3. 〈登録〉をクリックします。
- 設定した内容が有効になります。



4-5 本体MACアドレスの確認方法

ご契約のプロバイダーにMACアドレスの申請および登録が必要な場合(☞1-3章)など、次の手順を参考に本製品のMACアドレスを確認してください。

〈確認のしかた〉

1. WWWブラウザを起動して、本製品の設定画面にアクセス(取扱説明書[基本編]☞6-2章)します。

- 「ETHERNETポート接続状況」画面を表示します。

4. メニューから〈ネットワーク〉→「無線LAN設定」をクリックします。

- 「無線LAN設定」画面を表示します。



インターネットにつなぐ　第5章

この章では、
ADSLモデムまたはCATVケーブルモデムへの接続と、本製品に登録した[PPPoE]方式対応のプロバイダーへ自動または手動で接続する方法について説明します。
※[DHCP]方式対応のプロバイダーへの接続は、この章の説明にしたがってモデムを接続して、WAN側とLAN側のIPアドレスが取得できている状態であれば、お好きなURLを起動したWWWブラウザのアドレスバーに入力すると接続されます。

---

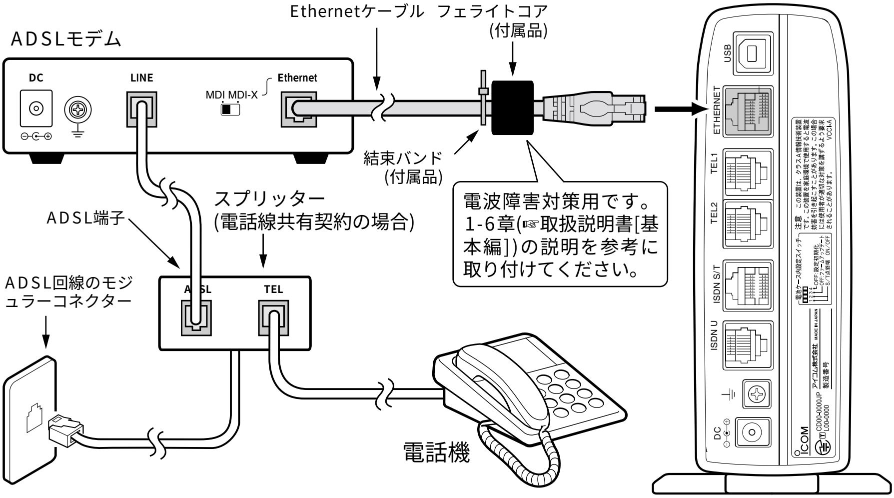
5 インターネットにつなぐ

5-1 [ETHERNET]ポートへのモデム接続

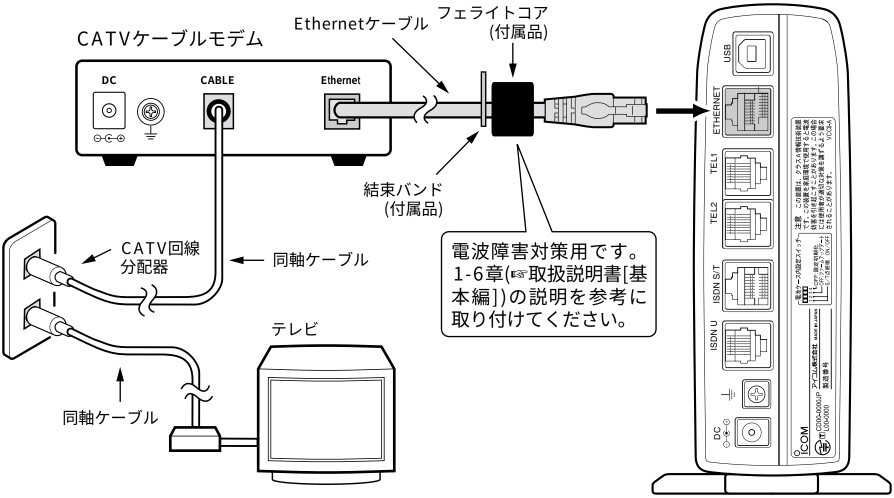
「簡単設定ソフト」(本書☞3章)、または「WWWブラウザ」(本書☞4章)で本製品の回線設定を変更後、次の図を参考にモデムを接続します。

【⚠警告】接続は、本製品および接続する機器の電源を切った状態で行ってください。

■ADSLインターネットの場合



■CATVインターネットの場合



5-2 インターネット接続を開始する

本製品は、ネットワーク内の情報を監視して、インターネットへのアクセス要求があると自動的に接続する機能を備えています。
出荷時の状態から[自動接続]の設定を「する」に変更すると、パソコンからホームページやメールを見る操作を行うだけで、自動的にインターネットの自動接続が行われます。
なお、[自動接続]の設定は、[PPPoE]方式で接続するプロバイダーに対して有効です。

【⚠注意】
[自動接続]や[自動切断]の設定を出荷時の状態から変更したときは、ご使用になられる機器、ソフトウェア、またはLANの利用状況により回線が接続されて、知らないうちに長時間の接続となるおそれがありますのでご注意ください。

■手動で接続する

[自動接続]の設定が「しない」(出荷時の設定)のときは、次の手順で接続を行います。
〈接続のしかた〉

1. WWWブラウザを起動して、本製品の設定画面にアクセス(取扱説明書[基本編]☞ 6-2章)します。
- 「ETHERNETポート接続状況」画面を表示します。

2. 「ETHERNETポート接続状況」欄に表示された〈接続〉をクリックします。
- 前各項目にそのときの状態が表示されます。



3. WWWブラウザを起動して、お好きなURLをアドレスバーに入力します。
- 通信中は、点灯している[LAN]ランプが点滅に替わります。

4. アドレスバーに入力したURLのホームページが表示されたことを確認します。
- 手順3.で点滅しているランプが点灯に替わります。

5-2 インターネット接続を開始する(つづき)

■自動で接続する

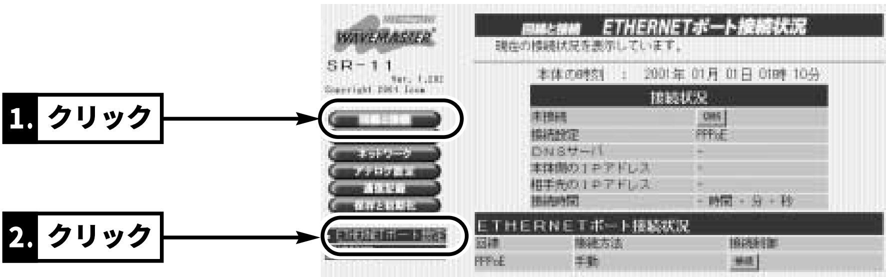
次の手順で[自動接続]の設定を｢する｣に変更すると、パソコンからホームページやメールを見る操作を行うだけで、自動的にインターネットの自動接続が行われますので、接続の操作は必要ありません。

◆[自動接続]設定を｢する｣に変更するには◆

〈変更のしかた〉

1.WWWブラウザを起動して、本製品の設定画面にアクセス(取扱説明書[基本編]☞ 6-2章)します。
- ｢ETHERNETポート接続状況｣画面を表示します。

2.メニューから〈回線と接続〉→｢ETHERNETポート設定｣の順番にクリックします。
- ｢ETHERNET接続設定｣画面を表示します。



3.[PPPoE詳細設定]をクリックします。
- ｢PPPoE詳細設定｣画面を表示します。

4.[自動接続]欄の｢する｣のラジオボタンをクリックして、〈登録〉をクリックします。



■意図しない接続に注意

プロバイダーから配布されたPPPoE接続ソフトウェアの自動接続機能が有効になっているときは、知らないうちに自動発信を繰り返すことがあります。

5-3 インターネット接続を終了する

本製品は、ネットワーク内からインターネットへ接続されているとき、新たにアクセス要求をしない状態が続くと、自動的に切断する機能を備えています。
出荷時の状態では、タイマーの設定値(出荷時の設定：10分)にしたがって自動切断が行われます。

【⚠注意】
[自動接続]や[自動切断]の設定を出荷時の状態から変更したときは、ご使用になられる機器、ソフトウェア、またはLANの利用状況により回線が接続されて、知らないうちに長時間の接続となるおそれがありますのでご注意ください。

■自動で切断する

[自動切断]の設定が「する」(出荷時の設定)のときは、ブラウザによるアクセスやメールソフトでの送受信操作を行わない状態が10分(タイマ：出荷時の状態)以上続くと、自動的に切断しますので、切断の操作は必要ありません。

◆[自動切断]設定を「しない」に変更するには◆

〈変更のしかた〉

1. WWWブラウザを起動して、本製品の設定画面にアクセス(取扱説明書[基本編]☞6-2章)します。
- 「ETHERNETポート接続状況」画面を表示します。

2. メニューから〈回線と接続〉→「ETHERNETポート設定」の順番にクリックします。
- 「ETHERNET接続設定」画面を表示します。



……………………………………………………………………………………次ページにつづく

5-3 インターネット接続を終了する

■自動で切断する◆[自動切断]設定を「しない」に変更するには◆

〈変更のしかた〉(つづき)

3.[PPPoE詳細設定]をクリックします。

●「PPPoE詳細設定」画面を表示します。

4.[自動切断]欄の「しない」のラジオボタンをクリックして、〈登録〉をクリックします。



■手動で切断する

[自動切断]の設定が「しない」のときは、ブラウザによるアクセスやメールソフトでの送受信操作を行わない状態が続いても、切断操作が行われるまで自動的に回線を切断しません。

※出荷時設定では、[自動切断]が「する」に設定更されていますので、「◆[自動切断]設定を「しない」に変更するには◆」の手順で設定を変更してください。

回線を切断するときは、次の手順で行います。

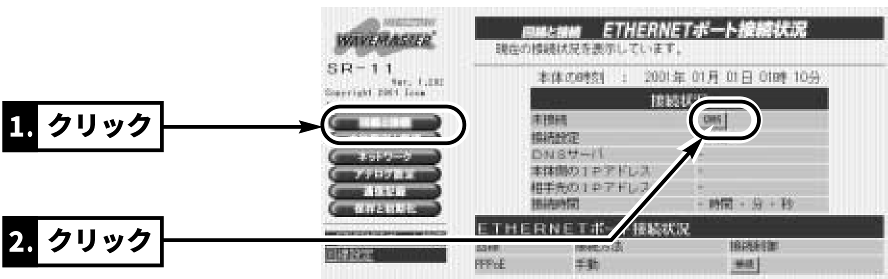
〈切断のしかた〉

1.WWWブラウザを起動して、本製品の設定画面にアクセス(取扱説明書[基本編]☞ 6-2章)します。

●「ETHERNETポート接続状況」画面を表示します。

2.接続状況」欄に表示された〈切断〉をクリックします。

●前面パネルの[LAN]ランプが消灯して、各項目にそのときの状態が表示されます。

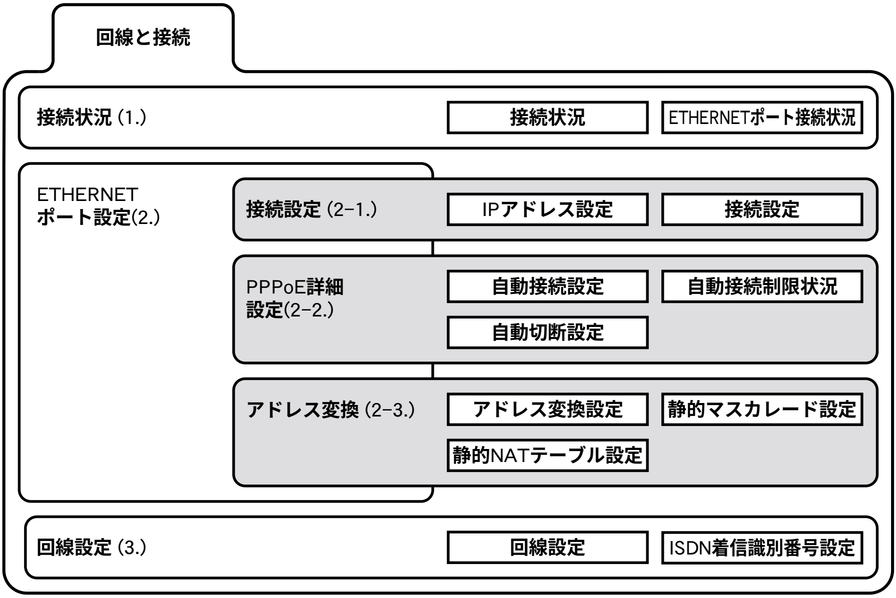


設定画面について

第6章

この章では、
本製品のブロードバンド対応に伴い追加された設定画面の各項目について説明します。

「PPPoE」または「DHCP」を設定したときの〈回線と接続〉メニューの構成です。



1.[接続状況]画面





①<切断> ………………………… 本製品に登録した接続先への接続、切断を手動で行うためのボタンです。そのときの接続状況を左に表示します。
※接続先への接続方法が[DHCP]の場合は、接続する相手先からIPアドレスを手動で解放するときだけに使用します。

②接続設定 ………………………… 「PPPoE」と表示する場合
WAN側の接続に[PPPoE]を使用していることを意味します。
「DHCP」と表示する場合
WAN側の接続に[DHCP]クライアントを使用していることを意味します。

③DNSサーバ ……………………… 契約するプロバイダーのDNSサーバIPアドレスを表示します。

④本体側のIPアドレス ………… 本製品のWAN側に設定されたIPアドレスを表示します。

⑤相手先のIPアドレス ………… 通信している接続先(プロバイダーなど)のIPアドレスを表示します。

⑥接続時間 ………………………… 通信が開始されてから、本画面にアクセスした時点までの接続時間を表示します。
最新の接続時間を表示するには、WWWブラウザの<更新>ボタンをクリックしてください。

⑦回線 ……………………………… WAN側の接続に[PPPoE]、あるいは[DHCP]クライアントを使用していることを表示します。

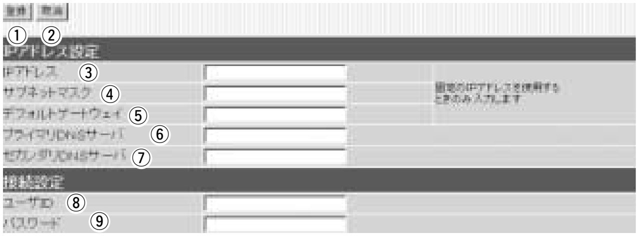
⑧接続方法 ………………………… WAN側の接続に[PPPoE]を設定している場合、回線への接続方法が[自動]か[手動]かを表示します。
なお、WAN側の接続に[DHCP]を設定している場合は、何も表示しません。(“ー”を表示します。)

⑨接続制御 ………………………… 登録した接続先に、手動で接続するときのボタンです。

2.[ETHERNETポート設定]画面

2-1.[接続設定]画面





①<登録> ……………………… この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。

②<取消> ……………………… この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

③IPアドレス …………………… 接続先から指定されたIPアドレスを入力します。指定されていない場合は、空欄のままにしておきます。

④サブネットマスク …………… 接続先から指定されたサブネットマスクを入力します。指定されていない場合は、空欄のままにしておきます。

⑤デフォルトゲートウェイ …… 接続先から指定されたデフォルトゲートウェイを入力します。指定されていない場合は、空欄のままにしておきます。

⑥プライマリDNSサーバ ……… 接続先からDNSサーバのアドレスが2つ指定されている場合は、どちらか一方、または指定されているプライマリDNSアドレスを入力します。 (入力例：123.114.101.34)

⑦セカンダリDNSサーバ ……… 接続先からDNSサーバのアドレスが2つ指定されている場合は、どちらか一方、または指定されているセカンダリDNSアドレスを入力します。 (入力例：123.114.151.64)

※接続先への接続方法が[DHCP]で、DHCPサーバから通知される場合は、⑥、⑦の設定は不要です。

※接続先への接続方法が[PPPoE]で、IPCP(DNSアドレス送信)に対応している場合は、回線接続時にDNSアドレスを自動取得できますので、⑥、⑦の設定は不要です。

⑧ユーザID ……………………… 接続先から指定されたユーザー名(ログイン名)を入力します。 (入力例：user)

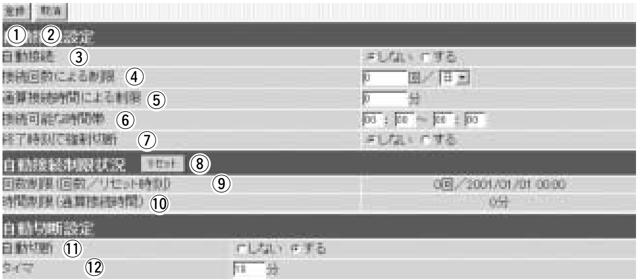
⑨パスワード …………………… 接続先から指定されたパスワードを入力します。
入力された文字は、すべて「＊」または「●」で表示されます。 (表示例：＊＊＊＊)

2.[ETHERNETポート設定]画面(つづき)

2-2.[PPPoE詳細設定]画面

この画面での設定は、PPPoE選択時のみ有効です。





①<登録> …………………………… この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。

② <取消> …………………………… この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

③自動接続 ………………………… ネットワーク上のパソコンから、インターネットにアクセスする操作をすると、自動で回線を接続するかしないかを選択します。
「する」を設定した場合、インターネットへアクセスする操作を行うだけで、自動的に回線に接続されます。

④接続回数による制限 ………… 一定期間当たりの自動接続の回数を制限できます。
積算された接続回数が制限を超えると、自動接続できなくなります。
0(制限なし)回〜65535回まで入力できます。
積算の期間は、「日」「週」「月」の中から選択できます。
積算期間を過ぎた時点で、設定した積算回数に対する制限は自動的に再始動します。
接続回数による制限を設定するときは、必ず、[接続状況]画面に表示される日付と時刻を確認してください。
日付と時刻は、停電対策用電池が消耗すると、初期値に戻ります。また、積算された接続回数もゼロに戻ります。

⑤通算接続時間による制限 …… 期間を制限せず、自動接続の時間を制限できます。
回線接続後、制限時間を経過すると、通信中でも回線を切断します。
0(制限なし)分〜65535分まで入力できます。
通算接続時間による制限を設定するときは、必ず、[接続状況]画面に表示される日付と時刻を確認してください。
日付と時刻は、停電対策用電池が消耗すると、初期値に戻ります。また、積算された接続時間もゼロに戻ります。
※回線接続中に制限時間を経過した場合でも、回線は強制切断されません。

⑥接続可能な時間帯 …………… 自動接続を可能とする時間帯を設定します。
開始時刻より終了時刻が早い時間の場合、終了時刻は次の日の時刻となります。

2.[ETHERNETポート設定]画面(つづき)
2-2.[PPPoE詳細設定]画面(つづき)

⑦終了時刻で強制切断 ………… 接続可能な時間帯を超えると、通信中でも強制的に自動切断するかどうかを選択します。

⑧<リセット> …………………… 以下の[自動接続制限状況]に表示する回数および時間を、「0」に戻します。

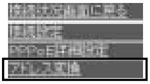
⑨回数制限(回数/リセット時刻) 表示する時刻までの自動接続回数と、次回リセットされる日時について表示します。

⑩時間制限(通算接続時間) …… 表示する時刻までの自動接続による通信時間について表示します。

⑪自動切断 ……………………… 接続中の回線を自動で切断するか、<切断>ボタン([接続状況]画面内)をクリックするまで、切断しないかを選択します。
自動切断を「する」に設定すると、一定時間、回線上で通信がなかったときは、自動的に切断されます。
自動切断は、回線に流れるデータの無い状態が10分(出荷時の設定)以上経過すると、自動的に切断します。

2.[ETHERNETポート設定]画面(つづき)

2-3.[アドレス変換]画面





①<登録> …………………………… この画面の設定内容を変更したとき、その内容を確定するボタンです。

②<取消> …………………………… この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお、一度<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

③アドレス変換 …………………… NAT、IPマスカレード機能を使用して、グローバルアドレスをプライベートアドレスに変換するかしないかを選択します。

④マスカレードIPアドレス …… **IPマスカレードで、WAN側に使用するグローバルIPアドレスを指定するときに入力します。**
プロバイダーから自動で取得したIPアドレスをマスカレードIPアドレスとして使用する場合は、入力の必要はありません。

⑤DMZホストIPアドレス ……… 静的マスカレードの設定から漏れたパケットが届くホストのIPアドレスを指定するときに入力します。

⑥静的マスカレード ……………… **WAN側を起点としたパケットに対して、そのパケットのポート番号からローカルホストを特定します。**マスカレードIP(アクセスポイントのグローバルIP)に対して、WANを起点としてアクセスしてきたパケットをプロトコルにより判定し、ここで指定したプライベートIPアドレスを割り当てたローカル端末へアドレス変換します。
最大32個のマスカレードテーブルを設定できます。

- **ローカルIP** ：プライベートIPアドレスを入力します。
- **プロトコル** ：TCP、UDP、TCP/UDPから選択します。
- **ポート** ：「開始ポート」、「終了ポート」に番号を入力するときは指定を選択します。▼印をクリックしてプルダウンメニューより選択します
- **開始ポート** ：選択したプロトコルの開始ポート番号を入力します。
- **終了ポート** ：選択したプロトコルの終了ポート番号を入力します。

※入力後は、<追加>をクリックして、[現在の登録]欄に登録されたことを確認後、<登録>をクリックしてください。

2.[ETHERNETポート設定]画面
2-3.[アドレス変換]画面(つづき)

⑦静的NATテーブル設定 ………

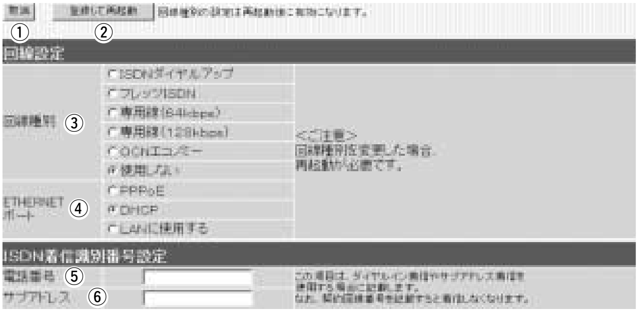
グローバルとプライベートのIPアドレス変換を行うための設定です。
プロバイダーとのLAN型契約などで、複数のグローバルIPアドレスを取得した場合に、ローカルIPアドレスに1対1で変換させるためのテーブル設定です。
最大32個のNATテーブルを設定できます。

- **グローバルIP**：指定されたグローバルIPアドレスを入力します。
  (入力例：172.16.0.49)
- **ローカルIP**：任意のプライベートIPアドレスを入力します。
  (入力例：192.168.0.10)

※入力後は、<追加>をクリックして、[現在の登録]欄に登録されたことを確認後、<登録>をクリックしてください。

3.[回線設定]画面





①<取消> ………………………… この画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

②<登録して再起動> …………… この画面中の設定内容を変更したとき、その内容を有効にするため、本製品を再起動します。

③回線種別 ……………………… 以下の6つから、使用する回線を選択します。

- **ISDNダイヤルアップ**(出荷時の設定)
  「INSネット64」を利用して、ダイヤルアップ接続をする設定を行います。
- **フレッツISDN**
  NTTが提供するフレッツISDNを利用して、ご契約のプロバイダーと定額接続するための設定を行います。
- **専用線(64kbps)**
  通信速度が64kbpsの専用線を利用するための設定を行います。
- **専用線(128kbps)**
  通信速度が128kbpsの専用線を利用するための設定を行います。
- **OCNエコノミー**
  NTTが提供するプロバイダーと契約してインターネット接続のための専用線サービスを利用する設定を行います。
  ※OCNには「ダイヤルアクセスサービス」もありますが、この場合の設定は、「ISDNダイヤルアップ」を選択してください。
- **使用しない**
  ブロードバンド回線(ADSL、CATV等)だけを利用するときに選択します。

④ETHERNETポート ………… [ETHERNET]ポートの使用用途を選択します。

- **PPPoE**
  ブロードバンドルータのWANポートとして、PPPoEを使用する回線(ADSLなど)に接続する場合に選択します。
- **DHCP**
  ブロードバンドルータのWANポートとして、DHCPクライアントを使用する回線(CATVなど)に接続する場合に選択します。
- **LAN**(出荷時の設定)
  ISDNルータのLANポートとして使用する場合に選択します。

> **【ご参考】**
> PPPoEまたはDHCPを設定した場合、[USB]ポートは、ETHERNETとして機能します。

3.[回線設定]画面(つづき)

⑤電話番号 ……………………… ブロードバンドルータとして使用する場合、入力は不要です。
ISDN回線での通信を併用する場合で、NTTのダイヤルインサービス(有料)を利用して着信識別するとき、ダイヤルイン番号を入力します。
ダイヤルイン番号は、市外局番から入力してください。
※契約電話番号だけを入力すると、本製品への着信がすべて拒否されますので、ご注意ください。
※電話番号は、半角31文字まで入力できます。
※電話番号を次のように入力すると、すべて同じ番号として処理します。
1111-22-3333、1111(22)3333、1111223333
※ダイヤルイン番号は、NTTのダイヤルインサービス(有料)と契約している場合だけ有効です。

⑥サブアドレス …………………… ブロードバンドルータとして使用する場合、入力は不要です。
ISDN回線での通信を併用する場合で、サブアドレスを利用して着信識別するときに入力します。
NTTとの契約は不要で、ISDN回線契約者が、ここに入力したサブアドレスを契約電話番号と一緒にダイヤルしてきたとき、着信が可能になります。
※サブアドレスは、任意の英数字、半角31文字以内で入力します。

4.工場出荷時に設定されているフィルターについて

ブロードバンド用として、〈ネットワーク〉メニューの[IPフィルター設定]画面に、あらかじめ設定されたフィルターについて説明します。

設定されているフィルターの目的は、以下のとおりです。
- 61番：本体への不正パケット防止
- 62番：プライベートIPアドレスへの不正パケット防止
- 63、64番：Windowsが行う定期的な通信によって起こる「意図しない自動接続」を防止

高品質がテーマです。

A-6013I-5J-① Printed in Japan

アイコム株式会社

本　　社	547-0003	大阪市平野区加美南1-1-32	
北海道営業所	060-0041	札幌市中央区大通東9-14	TEL 011-251-3888
仙台営業所	983-0857	仙台市宮城野区東十番丁54-1	TEL 022-298-6211
東京営業所	130-0021	東京都墨田区緑1-22-14	TEL 03-5600-0331
名古屋営業所	466-0015	名古屋市昭和区御器所通2-24	TEL 052-842-2288
大阪営業所	547-0004	大阪市平野区加美鞍作1-6-19	TEL 06-6793-0331
広島営業所	733-0842	広島市西区井口3-1-1	TEL 082-501-4321
四国営業所	760-0071	高松市藤塚町3-19-43	TEL 087-835-3723
九州営業所	815-0032	福岡市南区塩原4-5-48	TEL 092-541-0211

● サービスについてのお問い合わせは各営業所サービス係宛にお願いします。